

1/6 未明に愛知県安城市で、自転車に乗っていた女子高校生（17 歳）が乗用車にはねられ、意識不明の重体になった、という報道がありました。

側道から自転車で道路を横切ろうとした女子高校生が、出会い頭に乗用車にはねられたようですが、現場には自転車側の側道に一時停止の標識があったとのこと。

報道では事故の詳細を知ることはできないため、推測の域を出ませんが、もしも高校生が道路に進入する前に一時停止し、安全を十分に確認していれば、事故に至らなかったかもしれません。

交通安全には道路標識の正しい理解・遵守が欠かせませんが、それによる本来の目的およびとるべき行動を的確に理解しておく必要があります。

上述のケースでいえば、「とまれ」という標識の目的・意味はそれがあある場所での一時停止ではなく、一時停止した後に周囲の状況が確認できる場所に移動し、安全にその先の道路に進入することにあります。

このような事例をもとに、自転車の安全利用についてあらためて生徒の皆さんに指導・注意喚起をされてはいかがでしょうか。

尚、当財団では自転車やバイクなどの交通安全に関する専門講師による出前授業を実施しています。

現在今年 4 月以降の講師派遣を受け付け中です。どうぞご利用ください。

メニューやお申込み方法等の詳細については、以下 URL をご参照願います。

<https://jaef.or.jp/lifestyle-teacher/>

---

日本自動車教育振興財団 メルマガ事務局

【読者の皆さまへ】

私どもは、先生方や高校生の皆さんにより有益なご支援を提供してまいりたいと考えております。

つきましては、当財団の事業やご支援メニューについて、ご意見やご要望等をお寄せください（以下のいずれかの方法にてお願いします）。

1. 当メルマガに返信
2. SNS でのコメント、返信

ツイッター <https://twitter.com/jidousyakyoku>

フェイスブック <https://www.facebook.com/jaef2019/>